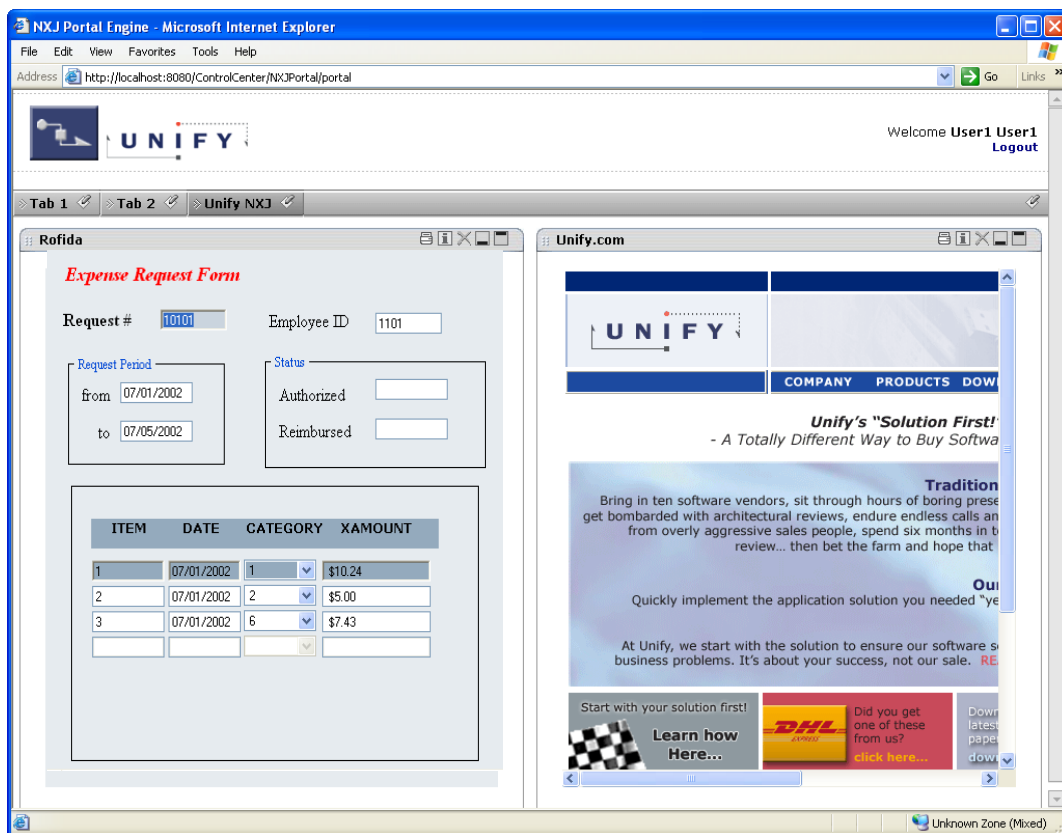


# NXJ ポータルでの NXJ フォームアプリケーションの実行

NXJ ポータルは、ポータルコンテナを実装する Web アプリケーションです。NXJ 実行環境では、ブラウザ上で NXJ ポータル Web アプリケーションのホームページを指定するような手順でポータルにアクセスすることができます。例えば、ブラウザで <http://localhost:8080/ControlCenter/NXJPortal> を指定します。ポータルは、Unify のホームページの隣に NXJ フォームアプリケーションを配置する等、複数のポータルを実行可能に構成することができます。



---

このドキュメントは、NXJ ポータルの機能概要と、NXJ フォームアプリケーションを NXJ ポータルに配備する方法を説明しています。NXJ ポータルの管理方法に関しては、『ポータル管理者ガイド』に詳細が記述されています。

## NXJ ポータルの機能

NXJ ポータルの主な機能は以下のとおりです。

- ユーザ個別のカスタマイズビュー

NXJ ポータルにログインする各ユーザはユーザテンプレートに関連付けられます。ユーザテンプレートで、ユーザがアクセスできるポータルリソースを定義します。管理者あるいはカスタマイズ権限のあるユーザは、その関連付けられたユーザテンプレートを変更することができます。例えば、自分のユーザテンプレートに定義されたポータルペインにポートレットを追加することができます。構成したいコンテンツを含むポータルページに移動し、カスタマイズされたリソースのアイコンをクリックしてカスタマイズされたポータルページを表示します。

管理者用テンプレートを持つユーザは、管理者用ポートレットを使って、ユーザの追加/更新/削除、ユーザのセキュリティグループ/ロールの指定、ポートレットの生成/更新/削除、および、ポートレットのセキュリティの指定ができます。ポートレットのセキュリティの指定は、そのユーザがポートレットにアクセス可能であるかを指定するものではありません。ユーザテンプレートの関連付けによって行います。ポートレットのセキュリティの指定では、どのユーザがポートレットをポータルペインに追加することができるかを指定します。

- 自動で容易な配備

NXJ ポータルを使用できるライセンスをインストールしていれば、NXJ ポータルは、Unify NXJ コントロールセンタの一部に J2EE Web アプリケーションとして配備されます。

コントロールセンタを削除すると、配備されている NXJ ポータルも同時に削除されます。

- シングルサインオンのサポート

Secure URL ポートレットは、NXJ ポータルにログインしたときのユーザ名/パスワードの転送をサポートします。そのようなポートレットを作成したときには、管理者は、明示的なユーザ名/パスワードを使うのか、転送されたユーザ名/パスワードを使うのかを指定できます。管理者はまた、HTTP の基本認証を使うのか、リクエストパラメータとしての証明書を使うのかも指定できます。管理者が証明書を選択した場合、パラメータの名前も指定する必要があります。

---

## NXJ フォームアプリケーションを表示するポートレットの作成

NXJ フォームアプリケーションを表示するポートレットを作成するには以下の手順に従います。

タスク 1: ポートレットの作成

タスク 2: ユーザがアクセスできるポートレットの指定

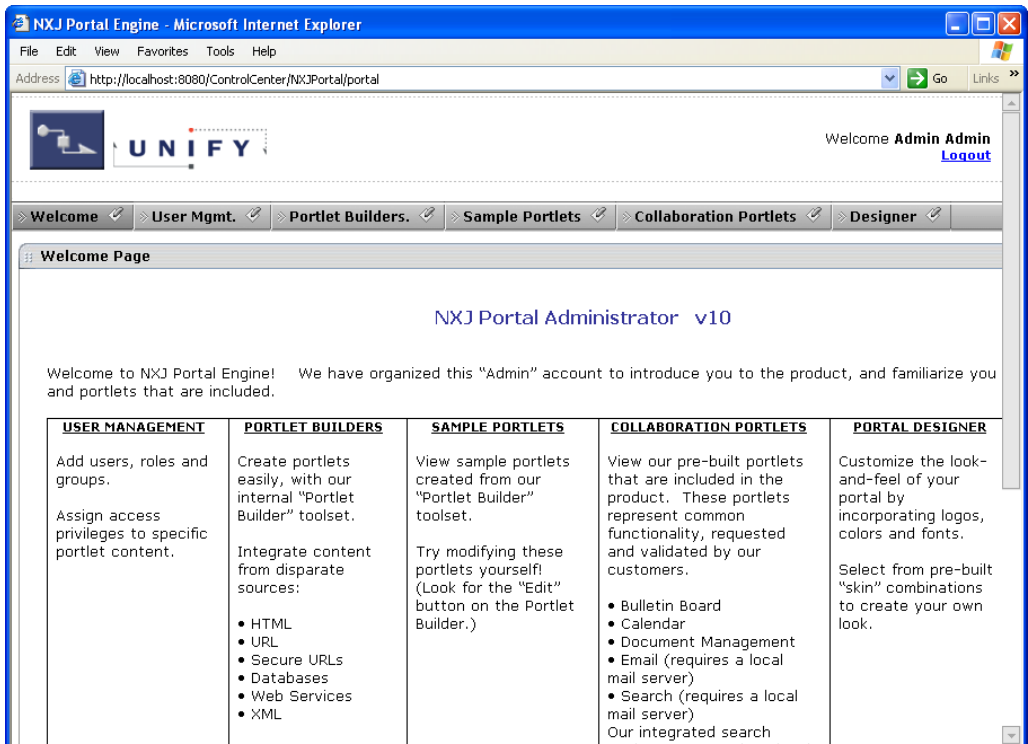
### タスク 1: ポートレットの作成

NXJ ポータルのポートレットを作成するステップは、以下のとおりです。

1. NXJ コントロールセンタから NXJ ポータルを選択します。
2. 上部右端にあるログインボタンをクリックして管理者として NXJ ポータルにログインします。



admin/admin を使うと、以下のページが表示されます。



詳細については、『ポータル管理者ガイド』の「ログインとログアウト」の章を参照してください。

3. Portlet Builders タブをクリックします。

Portlet Builder パネルが表示されます。



4. “Portlet Details” セクションにて、『ポータル管理者ガイド』の「ポートレットの管理」の「Portlet Builder」の説明を参照して、各フィールドに入力します。Type フィールドでは、NXJ フォームアプリケーションのエントリポイントを以下のように指定します。
  - a. ドロップダウンリストから URL を選択します。  
Source URL 入力フィールドが表示されます。
  - b. NXJ フォームアプリケーションエントリポイントの URL を入力します。

例えば、Rofida アプリケーションの XReport フォームのエントリポイントは以下のとおりです。

http://localhost:8080/ControlCenter/packages/Rofida/Report

コントロールセンタのインストール方法によって異なる名前、ポート番号になることがあるので注意してください。

5. **Create** ボタンをクリックします。

ポートレットは定義されました。これで、ユーザテンプレートを使ってポートレットにアクセスできます。

## タスク 2: ユーザがアクセスできるポートレットの指定

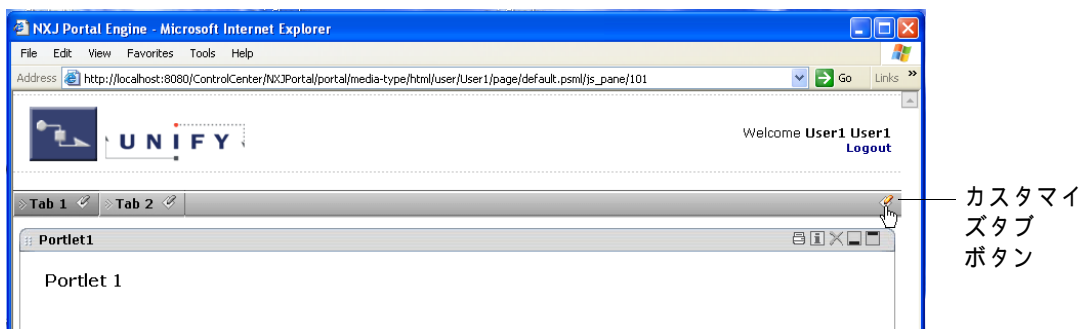
新規のポートレットのためにユーザテンプレートをカスタマイズするステップは、以下のとおりです。

1. admin、global-admin、あるいは変更するユーザテンプレートのカスタマイズ権限があるユーザで NXJ にログインします。

例えば、デフォルトユーザテンプレートを変更するのであれば、User1/User1 のログイン/パスワードを使用します。

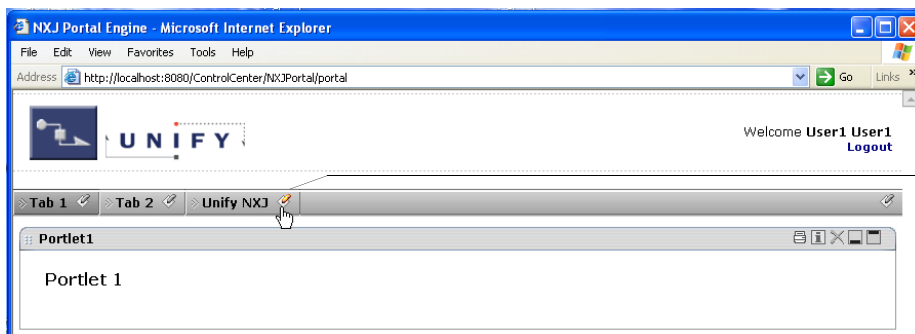
新規ユーザテンプレートの作成の詳細については、『ポータル管理者ガイド』の「ユーザ管理」を参照してください。

2. ポートレットを追加するペインに移動するか、以下のステップで新規のペインを追加します。
  - a. **カスタマイズタブ** ボタンをクリックします。



Customize pane ページが表示されます。

- b. **Add Pane** ボタンをクリックします。
  - c. “Unify NXJ” という新しいペイン名を入力して、**Apply** ボタンをクリックします。
  - d. Customize pane ページに戻って、**Apply** ボタンをクリックします。
3. ポートレットを追加するペイン上で、**ペインのカスタマイズ** ボタンをクリックします。例えば、新規に追加された Unify NXJ ペインの下図の位置にある**ペインのカスタマイズ** ボタンをクリックします。



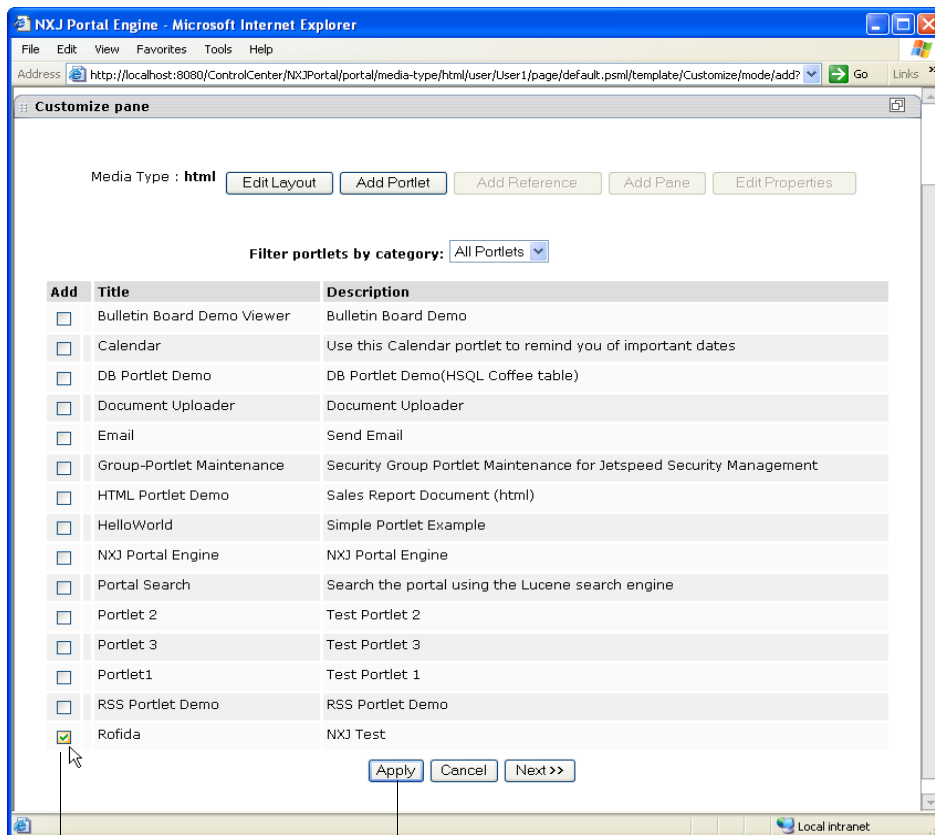
ペインのカスタマイズボタン

Customize pane が表示されます。

4. **Add Portlet** ボタンをクリックします。

タスク 1 で追加された Rofida のポートレットと同様に、事前に用意されたポートレットがリストされます。

5. Rofida ポートレットの行の Add 列にあるチェックボックスをセットして、ページの一番下にある Apply ボタンをクリックします。例えば：

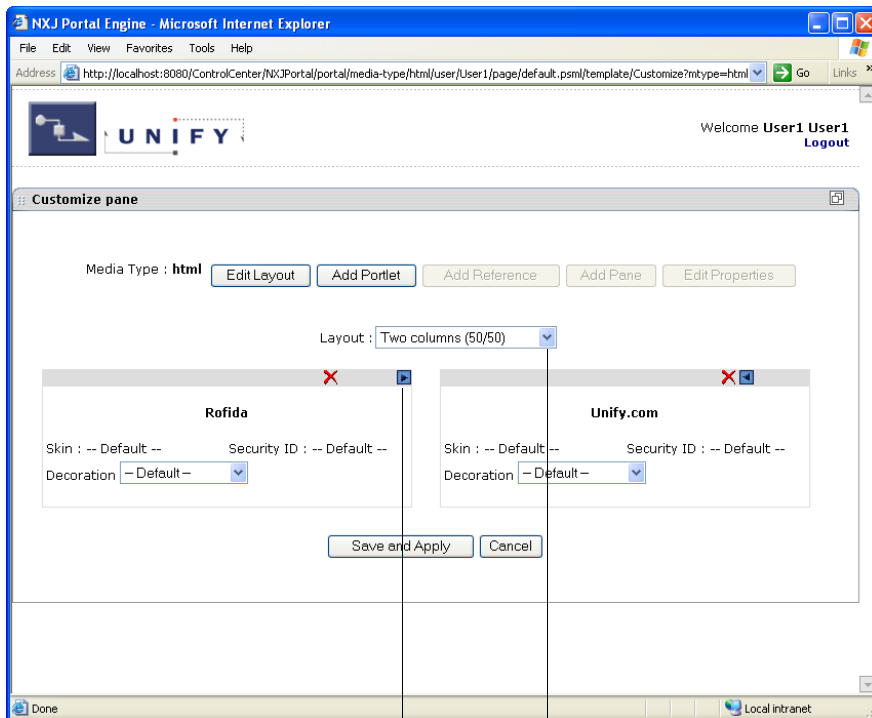


チェックボックス  
をセット

次に Apply ボタンを  
クリック

Apply ボタンをクリックすると、Customize pane ページはタブ上のポートレットのレイアウトを表示します。

6. 必要に応じて、タブのレイアウトを再調整します。



ポートレットを  
左右に移動

タブの列数を変更

レイアウトの変更に関する詳細については、『ポータル管理者ガイド』の「ポータルのカスタマイズ」を参照してください。

7. **Save and Apply** ボタンをクリックします。

8. 新規に追加されたポートレットを見るために、Unify NXJ ペインをクリックします。

ペインをクリックするときに、ペインへのアクセスの代わりに Customize pane パネルを表示する ペインのカスタマイズ ボタンをクリックしないように注意してください。

9. 必要に応じて、NXJ ポータルをログアウトします。